



【Isatuximab+Pd①1コース目減量・休薬・中止基準】

サークリサ点滴静注 添付文書 2021年11月改訂(第3版)、サークリサ適正使用ガイド 2022年12月改訂。

減量	ポマリスト
1段階	1mg減量
2段階	さらに1mg減量
3段階	中止

有害事象	Grade	休薬・中止
75歳以上		デカドロンを19.8mgに減量
注入に伴う反応	2	Grade1以下になるまでサークリサ休薬する。回復後、87.5mg/hの投与速度で再開する。注入に伴う反応の再発がない場合は、30分ごとに50mg/hずつ最大400mg/hまで投与速度を上げる。
	3≤	治療中止
好中球数減少	3	Grade2以下になるまで治療を延期する。
	4	Grade2以下になるまで治療を延期し、回復後ポマリストを1段階減量して再開する。
発熱性好中球減少症・好中球減少性感染		好中球数がGrade2以下及び感染と発熱が回復するまで治療を延期し、回復後回復後ポマリストを1段階減量して再開する。

ポマリストの血栓・塞栓症の予防

【下記リスク因子がない or リスク因子の上位3つ以外のリスク因子が1つのみの場合】

バイスピリン錠 1/日 連日

【下記リスク因子の上位3つのいずれかのリスク因子がある or 2つ以上のリスク因子がある場合】

ワルファリンカリウム錠 PT-INR 2～3を目指して投与

- ・高用量デキサメタゾン(≥480mg/月)との併用
- ・ドキシルピシン併用
- ・多剤併用化学療法
- ・肥満(BMI≥30kg/m<sup>2</sup>)
- ・VTEの既往
- ・中心静脈カテーテル/ペースメーカーの使用
- ・疾患(心疾患、慢性腎疾患、糖尿病、急性感染症)
- ・外科手術(一般外科手術、麻酔、外傷)
- ・薬剤(エリスロポエチン)
- ・血液凝固障害
- ・その他(長期臥床等)
- ・過粘稠度症候群